

社会を明るくする運動

つながり ～活動通信～

「社会を明るくする運動」では犯罪や非行のない地域を目指し、一人一人が考え、参加するきっかけをつくることを目的に活動しています。

問い合わせ先

社会を明るくする運動菊池市推進委員会
 ☎0968(25)7232(菊池市教育委員会生涯学習課内)
 【協力】菊池地区保護司会菊池分会広報部



更生センターの
ポグちゃん

身近に潜む薬物

私たちの身近に薬物問題があることをご存知ですか。国内の覚せい剤取締り、法違反等薬物事犯による検挙者数は、毎年1万人を超え、近年は増加している状況です。

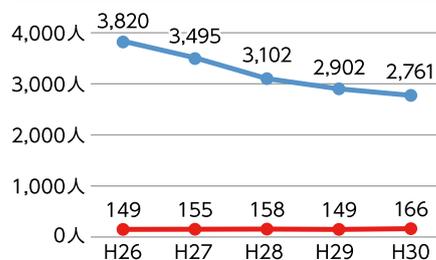
薬物依存症といった病気を抱える人も多く、依存性が高いため再犯の増加につながっています。インターネットやSNSなどで簡単に手に入るようになったことも、立ち直りが難しくなっている原因の1つと考えられます。

現状では薬物事犯者が刑務所出所後、地区の保護司が保護観察期間に、生活指導や就労支援などの相談を行っています。今後はさまざまな機関や団体と連携を取り、薬物事犯者への対応・処遇に地域の協力が求められます。

県内でも犯罪検挙者総数は減少している一方、薬物関係の検挙者数は増加傾向にあります。罪に陥ってしまった人を排除せず、更生を支えていくことが犯罪や非行の防止につながる、という考えに基づき、地道な更生保護活動が行われています。

社会を明るくする運動菊池市推進委員会では、7月の強調月間を中心に犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くため、活動に取り組んでいます。

熊本県内の犯罪の推移(過去5年)



犯罪検挙者数は減っていますが、薬物関係の検挙者数は微増しています。

昨年の主な取り組み

集会 昨年7月に菊池市文化会館で開催。わくわくOFFICEあそBe隊の薄井良文隊長による記念講演では、命の尊厳について話を聞くことができました。参加者からは、「一人の人間は弱いけれど、みんな集まれば強くなれる」といった感想がありました。

街頭啓発 市内の6店舗で啓発用品を配布。参加した高校生からは、「たくさんの方がチラシを受け取って、取り組みに興味を持ってもらえたこと、やりがいを感じた」と感想がありました。

作文募集 市内の小中学生と高校生から募集し最優秀作品は集会で発表。県のコテストで2作品が選ばれました。

のぼり旗の設置 各区の協力でのぼり

更生保護活動表彰

旗を設置。市内の各所で目にする、地域の力を強く感じました。

協力金 いただいた協力金は昨年12月末時点で109万1790円となり、各種事業に使わせていただきました。

昨年11月に開催された第32回九州地方更生保護大会で、更生保護活動関係者に長年の功績をたたえ、表彰状が贈られました。社会を明るくする運動の委員でもある市の保護司の受賞者は次のとおりです。(敬称略)

- 【九州地方更生保護委員会委員長表彰】安武功心・森本惟誠・森隆博
- 【九州地方保護司連盟会長表彰】上田公子・児玉良夫・中原純一・赤星幸成
- 【熊本保護観察所長表彰】吉野幸賢・横田勇・斉藤護・岡本房子



市の保護司会の皆さん